



三菱神戸病院（病院紹介）

増田，克久

(Citation)

神戸大学医学部神緑会学術誌, 1:87-88

(Issue Date)

1985-06

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCD0I)

<https://doi.org/10.24546/81007010>

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81007010>



三菱神戸病院

神戸市兵庫区和田宮通6丁目1-34
☎ (078)671-7705・671-5061(代)



神戸市は、最近、ポートアイランド、六甲アイランドと相次いで埋め立て地が完成し、色々な目的に使われていますが、この埋め立てが最初に行われたのは明治30年、現在、三菱重工KKのある場所であり、正確には、和田岬今出在家地先海面2万8千坪を埋め立てたのが始まりであります。この地域は、現在も海拔零メートル地帯であります。昭和39年、昭和40年の2回にわたる水害病院地下室が浸水し、多大の損害をうけた事がありますので10数年前に防潮堤が完成し、その後水害が無くなっていますが、万一に備え、病院としても防潮工事が施工されています。会社の創立は明治38年ですが、その2年後の明治40年12月に木造平家建ての診療所が開設され、その後、時代の流れと共に昭和10年6月、兵庫区和田宮通6丁目の現在の場所に病院が建設されました。その当時の建屋は、敷地2,785平方メートル、地下1階、地上3階の鉄筋コンクリート造りで、当時の建屋としては神戸では有数の立派な病院でありました。その後、数回にわたる増改築が行われ現在に至っていますが、昭和10年に建てられた本館は現在もその雄姿を横たえています。

現在の病院の規模は、許可病床数270床、建坪11,000平方メートルであります。診療科目は、内科、小児科、外科、整形外科、皮膚泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産

婦人科、歯科、放射線科等の総合病院であり、その他に衛生課、放射線管理課をもっています。

主たる設備としては、ICU、CCU、人工透析室、超音波室、CT（全身用）室、健診センター（人間ドック）、理学療法室、クリーンルーム、X線TV室、中央手術室、中央材料室、中央検査室、中央医局等の近代設備を整えており、現在、図書室と病歴管理室の整備に努力しています。

現在、医師数は、27名で、その殆んどは神大の各医局より派遣されています。病院の総人員は約300名であります。神戸造船所の社員数は約7,000名、協力社員を含めると、約10,000人です。

当病院設立の目的は、従業員の福利厚生観点から作られたものであり、特に労働災害外傷が発生した場合に直ちに対応する事を目指したもので、従業員に安心して働いてもらうという当時のトップマネージャーの配慮によるものであります。一方、当時、結核患者が多発していた事もあり、健康管理を充実する事も重要な課題であったと思われます。最近、造船工法の改善により、災害外傷は、非常に減少し、結核患者も、抗結核剤の進歩により急速に減少し、初期の目的は失われつつありますが、平均寿命の延びと定年延長に伴い、中高年の健康管理対策と中高年の疾病が増加しており、これからの対

応が重要となっています。地域住民とは、会社、社員等と色々密接な関係があり、病院も地域住民に開かれた病院として、広く地域住民の診療を行っており、遠くは淡路島等からも診療に来ています。

院長方針としては、第一に患者に信頼される病院。第二に各科の有機的な連携。第三に健康で明るい職場を目標にしています。幸いにも、両副院長を始め、神緑会の会員の皆様、病院の皆様からの暖かいご支援をうけ、全員一丸となって医療を進めています。

1年間の主な催し物を列挙しますと、運動会（家族と一緒にしています）、新人歓迎ハイキング（春）、高校野球を楽しむ会（夏）、ボウリング大会（秋）、忘年演芸会（冬）、囲碁大会、将棋大会、麻雀大会、忘年会、旅行、歓送迎会、ゴルフ大会（扇岬会…医師OBと現役のコンペ）、菱神医会（医師OBとの懇親会）等があり、医療という兎角沈み勝ちになる仕事の合間をぬって、お互いに楽しむ様にしています。その他、会社の主催する野球大会、バレーボール大会、運動会等に、病院チームとして参加し、日頃の技を披露し、気を吐いています。会社の仕事は、ほとんど世界全域にまたがっている関係上、社員の健康管理のために、世界各国に駐在している社員の衛生パトロールを実施しており、北中南米、東南アジア、中近東等の各ブロックに分け、社内病院、或は、診療所に勤務している医師が交互に各地を回っています。神戸病院も2、3年に1回、当番がめぐってきますので、医師を派遣しています。期間は3～5週間です。国際都市神戸という土地柄からも、出来る限り多くの医師に行って頂き、視野を広くしていきたいと考えています。

最後になりましたが、スタッフを派遣して頂いている神大の各教室をはじめ、神緑会の皆様方の各方面からのご支援、ご協力に、本紙上を借りて厚くお礼を申し上げます。

尚、当院は神大付属病院からは近いので、是非共、ご来院していただく事をお願い申し上げます。

（文責 増田克久）

〈スタッフ〉

院 長（外科）	増 田 克 久（神戸医大S29）
副 院 長（眼科）	千 葉 剛（ " S33）
〃（内科）	土 屋 五 郎（ " S35）
院 医 長（外科）	林 田 圭 市（兵庫医専S26）
〃（産業医）	松 崎 岩 雄（神戸医大S34）
〃（ " ）	中川千代三郎（大阪市立医専S25）
外 科 長	関 本 健 一（神戸医大S36）
〃 医 長	深 野 茂（福島医大S47）
〃 〃	衣 笠 達 也（神大S48）
〃 〃	安 部 益 文（順天堂大S49）
整形外科 医 長	裏 辻 雅 章（金沢大S53）
〃 医 師	増 田 真 造（神大S59）
第二内科長（兼中検長）	井 尻 靖 治（神戸医大S35）
第一内科 〃	末 広 厚 夫（昭和大S51）
〃 〃	佐々木 順 子（神大S51）
〃 〃	気 比 陽（神大S50）
〃 〃	浦 井 寿（神大S53）
〃 〃	富 本 忍（近大S58）
〃 〃	大 西 祥 男（神大S58）
〃 〃	橋 本 彰 則（関西医大S59）
小 児 科 医 長	関 真理子（神大S51）
消化器科 医 長	村 田 真理江（和歌山医大S46）
眼 科 医 師	田 村 忍（神大S56）
耳鼻咽喉科長	秋 野 雅 子（帝国女医専S22）
産婦人科長	矢 守 征 雄（神大S46）
歯 科 医 長	繁 田 幸 慶（大阪歯大S52）
〃 医 師	稲 岡 直 美（松本歯大S58）

27名

〈交通機関〉

市バスご利用の場合（吉田町回り）

- ・国鉄神戸駅から⑧、急行⑩に乗車、笠松7丁目
 - ・神戸高速新開地駅から②③で下車。徒歩約3分。
- タクシーの場合、国鉄兵庫駅より約5分。

